

(お知らせ)

令和2年3月29日

防 衛 省

1. 本日6時10分頃、北朝鮮の東岸より、2発の弾道ミサイルとみられるものが北東方向に向けて発射され、6時13分頃、北朝鮮の東北部の沿岸付近に落下したものと推定されます。従来から北朝鮮が保有しているスカッドの軌道よりも低い高度を、最大約250km程度飛翔したものと推定されますが、詳細は分析中です。なお、我が国の排他的経済水域（ＥＥＺ）外に落下したものと推定されます。
2. 総理には、本件について直ちに報告を行い、
 - ① 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
 - ② 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
 - ③ 不測の事態に備え、万全の態勢をとることの3点について指示がありました。
3. これを受け、防衛大臣は「一層の緊張感をもって引き続き、情報収集・警戒監視に万全を期せ」との指示を出しました。その後、関係幹部会議を開催するなど、対応に万全を期しているところです。
4. 今般の北朝鮮の行動は、我が国と地域の平和と安全を脅かすものであり、これまでの弾道ミサイル等の度重なる発射を含め、我が国を含む国際社会全体にとっての深刻な課題です。
5. 防衛省・自衛隊としては、引き続き、米国等とも緊密に連携し、大臣指示に基づき情報の収集・分析及び警戒監視に全力をあげるとともに、今後追加して公表すべき情報を入手した場合には、速やかに発表することとします。